防災・減災活動における地域間交流と世代間交流の重要性

Inter-local and inter-generational knowledge transfer in disaster damage reduction practices

○ 矢守克也 ○ Katsuya Yamori

When we take Lave's idea of "community of practices" into consideration, it is more important to construct and sustain a community where people exchange disaster reduction knowledge and skills on a multi-lateral base rather than to realize a one-shot and one-way knowledge transfer from those who know well to those who do not. The former focuses on collective and sustainable learning processes, while the latter's attention is limited within individual and one-time learning mechanisms. The paper introduces some of the concrete attempts which aimed at creating such "community of practices" on disaster reduction.

1.「次の次」へ伝えること

矢守(2006)は、大工やシェフといった技術者集団でのフィールドワークに基づいてレイブらが提唱した「実践共同体論」に依拠して、専門家や体験者が得た知識・技術を非専門家や未体験者へと個体間移動させることではなく、こうした知識・技術の個体間移動をその一部として含みつつも、その連鎖的・継続的反復を保証する共同体のメカニズムを創造することを防災・減災教育活動の目的として設定すべきことを指摘している。前者が、「次」へ伝えるためのone-shotの個人(間)活動を志向しているのに対して、後者は、「次の次」へ伝えるための持続的かつ集合的なメカニズムにフォーカスしている。

後者の観点にたった場合、防災・減災活動にお ける地域間交流、または、世代間交流が非常に重 要な役割を果たすことになる。このとき、重要な ことは、関係者の間に、2項関係(bi-の関係)で はなく、少なくとも3項関係(tri-の関係)以上の 多項関係 (multi-)が張られるようにグループ・ ダイナミックスを構成することである。なぜなら、 2項関係を前提とする限り、 - 必然ではないが - 専門家から非専門会へ、あるいは、体験者から 未体験者への一方向的な、したがって、一時的な 知識・技術フローが結果しやすいからである。し かし、別の領域の専門家、あるいは、他の災害の 体験者といった 3 項目を導入することによって、 関係者の間に、双方向的で、かつ持続可能な知識・ 技術フローが喚起されるとともに、さらに、4項 目、5 項目と新たな関係者をそのグループ・ダイ

ナミックスへと招き入れることも可能となる。

2. 具体的な事例

本稿では、上で述べたことを志向して筆者らが 展開している具体的な事例をいくつか紹介し、防 災・減災活動における地域間交流と世代間交流に 具体的なイメージを与えておきたい。

(1) 災害メモリアル神戸 2006 - 未来へ語ろう、私たちの体験:中越大震災、新潟豪雨、豊岡豪雨を体験して」: 2004年の台風 23号の集中豪雨に遭った豊岡市、中越地震と豪雨災害で被災した新潟県、さらに、神戸市の小中学生ら約100人が参加。各地域の子どもが被災体験の作文朗読や日頃の防災教育の成果を交換するなどした。

(2 「災害メモリアル神戸 2007 - 世界で行動する先輩と災害を学ぶ」: 震災第 2 世代とも言うべき現在の大学生(阪神・淡路大震災当時の小学生)で、現在、災害救援や防災教育活動に熱心にとりくんでいる人たちが、10 年あまり前の震災や現在の活動について、現在の小学生に講義した。次に、その講義の感想を小学生が作文発表し、それをもとに、大学生や震災を大人として体験した世代とが防災教育についてディスカッションした。(3)「防災ゲームクロスロード - ファシリテータのつどい」: 筆者ら(矢守・吉川・網代,2005)が展開してきた防災ゲーム「クロスロード」を地域防災の実践現場で活用するユーザーが、全国各地から参集し互いの実践事例について報告し、かつディスカッションした。